



RIKKEN
MINSHU
号外

2019年春

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

(横浜市西区・南区・港南区)

神奈川県第2区版

立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主党・衆議院神奈川県第2区 総支部長【横浜市西区・南区・港南区】

お か も と え い こ

岡本英子

【略歴】横浜生まれ、横浜育ち。・横浜国立大学 卒業（経済学部） ・衆議院議員秘書 ・横浜市議員 4期 14年
・衆議院議員 1期 3年6ヶ月
厚生労働委員会/国土交通委員会 理事/政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会 理事/環境委員会
青少年の問題に関する特別委員会 理事/犬猫等の殺処分を禁止する議員連盟 事務局次長

自己紹介

衆議院神奈川県第2区（横浜市西区・南区・港南区）に岡本英子を公認

こんにちは。岡本英子と申します。

私は、大学を卒業し、衆議院議員の秘書として政治の世界へ入りました。その後、4期14年間横浜市議員、そして1期3年半衆議院議員を務めました。



市議員時代、娘を2人出産しました。当時横浜市議会には、まだ産休制度がなかったため、出産後、産休をとれるよう女性議員と共に条例制定に努めました。子育てと仕事の両立は思っていた以上に課題が多く、時間も精神力も限界を感じた時が何度もありました。まさに「女性の社会進出」は、制度と社会の意識改革がなければ難しいことを実感しました。子育てと仕事を両立するにあたって最初の壁は、認可保育園に入園できるかどうかでした。私の場合、認可保育園ではなく、当時の横浜型保育室に入園。病児保育のあり方や、保育時間と仕事の兼ね合いなど様々な課題があり、議会の中で多くの子育て世代の代弁者となれるよう取り組み、努めてきました。子育てを通して、「子ども」と「学校」と「親」との関係づくり、受験のあり方、教育格差等の問題を目の当たりにし、学校教育に加え、学習塾など教育費が必要となるなど、養育者の所得と子どもの教育内容が比例すること、親世代の責任として、子どもが「学ぶ機会」やその「質」の向上、教育格差解決は、今も私が取り組んでいる課題の1つです。



自分の親も高齢となり、これからの生活環境をどのように整えていくことが望ましいのか、また介護が必要になった時の家族のあり方などを考え、私は介護ヘルパー2級（当時）を取得しました。国の介護政策の在り方に、介護制度の柔軟性や、従事者の労働環境整備、それと同時に超高齢社会の中で安心して暮らせる環境整備など、新時代に合った制度の見直しが必要だと感じています。高齢者にとって年金・医療・介護は、生活の重要な部分を占めています。安心して豊かに齢を重ねることができる環境づくりに力を入れていきたいと考えています。

東日本大震災発生当時、私は子どもと新宿駅におり、今まで経験したことのない大きな揺れと恐怖を感じていました。帰宅が困難となりました。この経験から、災害に対して自分は何ができるのか、もう少し知識を身につけたいと思い防災士の資格を取得しました。また、以前から関心のある街づくりや住宅環境整備の知識を深めるために、宅地建物取引士の資格を取得しました。これらの経験を活かし、被災地の復興、災害に強い街づくりと地域コミュニティの構築に努めていきたいと思っています。



私のライフワークは「人と動物の共存共生」です。25年前から、様々な理由で飼い主を失ったペット達の里親を探すボランティアの会を立ち上げ活動を続けています。動物ホリスティックケアカウンセラーを取得し、自らも里親となり、命ある生き物を大切に、授かった命を寿命まで幸せに生活できるよう、これからも活動していきたいと思っています。

私のライフワークは「人と動物の共存共生」です。25年前から、様々な理由で飼い主を失ったペット達の里親を探すボランティアの会を立ち上げ活動を続けています。動物ホリスティックケアカウンセラーを取得し、自らも里親となり、命ある生き物を大切に、授かった命を寿命まで幸せに生活できるよう、これからも活動していきたいと思っています。